

フィリピン・メトロセブ地域におけるレジ袋等の軟質系廃プラスチック類 マテリアルリサイクル事業案件形成調査

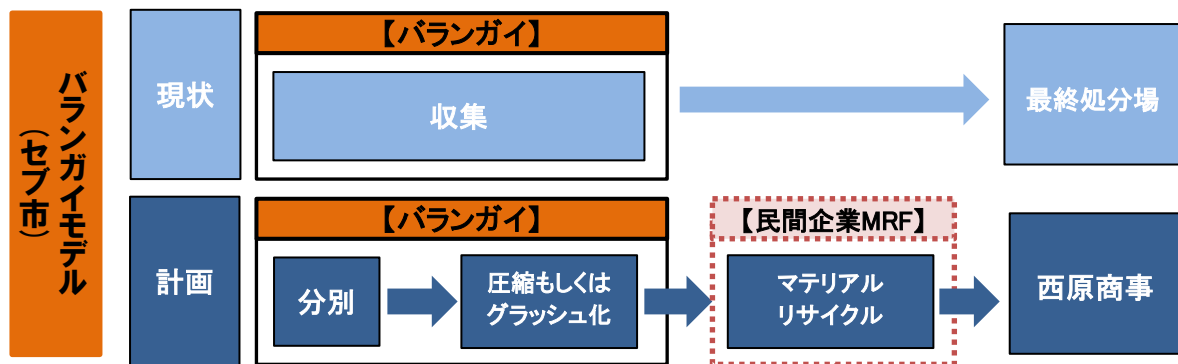
(株)西原商事、NTTデータ経営研究所、IGES、KITA

環境省「我が国循環産業海外展開事業化促進事業」(2013年度、2014年度)

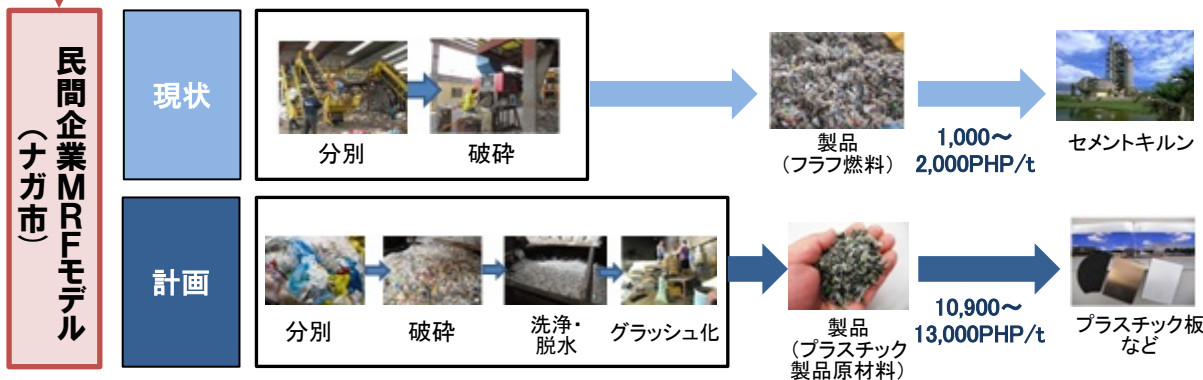
■フィリピン・メトロセブ地域のセブ市、ナガ市において、家庭等からは排出されるレジ袋等の軟質系廃プラスチック類を対象に下記2つのマテリアルリサイクルモデルの事業案件形成調査を実施

【 balan-gai ※モデル】セブ市と協働して、埋立処分されている廃プラを発生段階にて分別しマテリアルリサイクルする事業

【民間企業MRFモデル】ナガ市において、民間事業者FDR社と協働し、同社所有のMRF (Material Recovery Facility) を活用したリサイクル事業
※ balan-gai: フィリピンの最小地方自治単位



これまで埋立処分されていた軟質系廃プラスチックを住民が分別・洗浄し、それを balan-gai が買い取り (1PHP/kg 想定)、 balan-gai にてグラッシュ化した製品を民間企業MRFに集約し、西原商事が買い取るモデル。西原商事は、プラント購入への助言及びプラントの balan-gai 設置・運転に関する技術支援を実施。
※セブ市は既にグラッシュシーン購入費用(予算)を確保済みであり、マシーン設置場所も決定



これまでフラフ燃料化して、セメントキルンにて燃料として活用 (サーマルリサイクル) していた廃プラスチックを、新たな分別行程及び洗浄・脱水・グラッシュ化することによりマテリアルリサイクルを実施 (リサイクル品の高付加価値化)。
現地パートナー企業 (FDR社) と西原商事は2014.1に軟質系廃プラスチックのマテリアル事業実施に関する覚書を締結し、向こう1年以内に事業開始することで合意済。